

使用済燃料輸送容器データ問題についての
与謝野通商産業大臣談話

平成10年12月3日
通商産業省

1. 今般の使用済燃料輸送容器データ改ざん問題では、関係する地元をはじめとする国民の皆様に変な不安を与え、原子力に対する信頼を損ねることとなったことについて、極めて遺憾に思うとともに、深くお詫び申し上げます。
2. 本問題の発生以来、通商産業省としては、関係省庁が一体となって本問題に対応することが重要との認識の下、「使用済燃料輸送容器調査検討委員会」の検討に積極的に参画してきましたが、本日報告書がとりまとめられたところであります。
3. 今後は、本報告書を受け、かかる事態が生じることのないよう、事業者及び国が再発防止策を着実に実行に移していくことが何よりも重要であります。本日、関係事業者より再発防止対策の報告がありましたが、通商産業省としても、この確実な実施を指示したところであり、自ら品質管理についての審査の充実等に取り組んでまいり所存であります。
4. 原子力は今や我が国にとって欠かせない重要なエネルギーであります。国民の理解と信頼があって初めて存立しうるものであります。原子力に携わる全ての者は、今回の問題で失った国民の信頼の大きさを肝に銘じ、一日も早くその信頼を回復すべく真摯に取り組まなければならないと痛感しております。
5. 通商産業省としても、関係者におけるこのような取組が真に実をあげるものとなるよう、全力を上げて努力してまいり所存です。